

## 1. 学校理念

「全ての学生の夢を受けとめ、高い技術力と、豊かな人間性を備えたプロフェッショナルを育成し、社会に貢献する。」

## 2. 宮崎ブライダル&医療専門学校校訓

誠 実 な 人  
努 力 す る 人  
思 い や り の あ る 人

## 3. 学校の教育目標

1. 学校の夢を具現化するため、教育に携わる教職員一同は常に精進に努め、また、学校はその為の研修等を計画的に行う。
2. 高い技術力を習得させるため、関連業界との連携を深めながら、定期的に技術力の確認を行う教育プログラムを実践する。
3. プロフェッショナルとしての心を育成する為、キャリア教育の充実を図る。
4. 豊かな人間性の構築を目指し、校外での体験、教育の場を設ける。

## 4. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

1. 学校の理念、校訓、教育目標が全職員及び学生に認知され、日常の教育に反映させる方策の実施。
2. 学生の安全な学校生活を保証するための行動目標の徹底。
3. 現代社会のニーズに即したカリキュラム編成と、その実施。

## 5. 評価項目の達成及び取組状況

### (1) 教育理念目的・人材育成像

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育理念・目的が設定されている	A
②	学校の教育理念・目的が周知徹底されているまたは、明文化している	A
③	学校が目指す人材育成像が設定されている	A
④	学校が目指す人材育成像が周知徹底されている、または、明文化している	A
⑤	各学校の目的にあわせた特色が実践している教育に現れている	A
⑥	時代のニーズに合わせ、理念・目的・育成像の再考システムが構築されているか	A

#### [課題]

・時代や業界のニーズに求められる人材像の把握と、それに即した授業内容の構築。

#### [今後の改善方策]

・各業界の現状や今後の展望を把握する機会を作る。これまで・現在・これからを比較しながら学生に伝達できるようにする。

### (2) 学校運営・・・諸規定の制定、学則・細則・内規等の整備、防犯対策、個人情報の保護、意思決定機関

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校運営の方針が明確に明示されているか	A
②	学校運営方針に沿った各種規定が整備されているか	A
③	学校の意思決定機関が効率的なものであるか	B
④	人材の活用と適切な待遇への整備がされているか	A
⑤	学生及び職員の個人情報について、個人情報保護法を遵守しているか	A
⑥	災害や人災に対し、防犯や予防の対策が制定され、実施しているか	A

#### [課題]

・『③学校の意思決定機関が効率的なものであるか』について今年度もB判定が出ている。意思決定の明確化を図り、全職員の理解を得た学校運営の方法を模索すべきである。

・人材活用と待遇に関しては、より各職員の理解が進むように情報の開示と、丁寧な説明をするべき。

#### [今後の改善方策]

・命令、報告の系統を再考し、効率的に仕事を進められる環境を整える。

・人事考課の手段や観点を開示し、適切に対応していることを明確にし、丁寧に説明する。

### (3) 教育活動・・・理念・目的・人材像を反映、したカリキュラム、カリキュラムの定期的見直し、キャリア教育、授業アンケート、授業計画、成績評価・単位認定、資格試験、教職員

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育理念・目的・目指す人材像を達成する為のカリキュラムが組まれているか。	A
②	学生の実態に合わせ、定期的カリキュラムの見直しが行われているか	A

③	キャリア教育の視点にたったカリキュラムが組まれているか	A
④	関連分野に於ける実践的な職業教育（インターンシップや実習）が体系的に位置づけられているか	A
⑤	授業評価の実施・評価体制が整っているか	A
⑥	授業評価がよりよい授業構成のために役立たされているか	B
⑦	中・長期的視野に立ち、授業計画がなされているか	A
⑧	授業計画が明文化され、記録されているか	A
⑨	成績評価・単位認定は学則・細則・内規に準拠したものになっているか	A
⑩	資格取得の指導体制はあるか	A
⑪	教員の指導能力の向上に対し、方策を採っているか	A

<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学生の実体にあわせた定期的なカリキュラムの見直しについて、学生の学力が低下していることに対する確かな対応方法を構築する。</li> <li>キャリア教育の視点に立ったカリキュラムが組まれているかについては、キャリア教育とは何か、学生が、入学以前にどのようなキャリア教育を受けてきているかを把握した上で、どのような教育活動が求められているのか、必要なかを把握し、展開することが必要である。</li> </ul>	
<p>[今後の改善方策]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学科の専門知識や技能を身につけさせることのみではなく、最低限必要とされる学力を補う授業や補講を展開する。</li> <li>新入生オリエンテーションの際に学力判断テストを実施し、その後の指導に活用する。</li> <li>学生に業界の将来性、可能性に気付かせる機会を与える。（講演会など）</li> </ul>	

(4) 学修成果・・・就職率・推移、資格取得率・推移、退学率の低減

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	就職率の向上が図られているか	A
②	資格取得率の向上が図られているか	A
③	退学率の低減が図られているか	B
④	入退学者数とその推移を把握しているか	A

<p>[課題]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>退学者を出さない学生指導のあり方を考えていく必要がある。</li> </ul>	
<p>[今後の改善方策]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>退学者や不登校者を出さないよう、カウンセリングマインドで職員が学生に接する。将来的には、スクールカウンセラーの資格修得者などの協力を得られるような体制を作る。</li> <li>退学者の退学理由を分析し、今後に活かす。</li> </ul>	

(5) 学生支援・・・進路・就職への支援、学生相談への支援、学生への経済的支援、保護者との適切な連携、卒業生への支援体制

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	進路・就職指導に関する体制が整備され、機能しているか	A
②	学生相談に関する体制が整備され、機能しているか	A

③	学生への経済的側面を支援する体制が整備され、機能しているか	A
④	保護者との適切な連携を図る機会が設けてあるか	A
⑤	卒業生への支援体制はあるか	B

<b>[課題]</b>
・卒業生への再就職サポートとして、求人情報の提供を中心にさらに検討していく必要がある。
<b>[今後の改善方策]</b>
・前年度同様、卒業生の支援については、ホームページに卒業生の再就職支援ページを作成して情報を提供することを検討していく。特に、企業からの卒業生への求人情報は年々増加しており、この情報を有効に生かせる体制を組織化したい。

(6) 教育環境・・・教育施設・設備、学内外の実習・インターンシップ、危機管理

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	教育上の必要性に充分対応できる教育施設であるか	B
②	IT 機器などの教育用設備が教育上の必要性に充分対応できるか	B
③	学外実習やインターンを支援する体制が整っているか	A
④	危機管理や防災についての体制や対策を周知しているか	A

<b>[課題]</b>
・学内の IT 機器の充実を図りたい。
<b>[今後の改善方策]</b>
・学生の使用するパソコンのスペックの向上など、段階的な改善を検討する。

(7) 生徒募集・・・生徒募集活動の適正性、教育成果の伝達、入学選考、学納金

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	生徒募集活動は適正に行われているか	A
②	就職率や資格取得率など、教育成果の情報提供が適切に行われているか	A
③	入学選考は適正かつ、公平な基準に基づいているか	A
④	学生納付金は妥当なものとなっているか	A

<b>[課題]</b>
・各項目、前年度並である。
<b>[今後の改善方策]</b>
・職業実践専門課程認定校として、各種情報の提供を校内外に対し、遺憾無く行っていきたい。

(8) 社会貢献／地域貢献・・・社会貢献、公開授業・出張講座、ボランティア活動

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	学校の教育資源などを有効活用した社会貢献を行っているか	A

②	地域や、高校、中学などを対象に公開授業や出張講座を行っているか	A
③	学生のボランティア活動を奨励、支援する体制が整っているか	A

[課題]	
・『③学生のボランティア活動を奨励、支援する体制が整っているか』については、昨年同様、ボランティア活動の機会を増やすよう計画を進める。	
[今後の改善方策]	
・職業実践専門課程の認定を受けるにあたり、ボランティアへの取り組みを以前より強化したが、授業数確保等との兼ね合いなどから、サークル活動の機会や、学校全体のボランティア活動の機会がまだまだ少ない。今後は回数を増やし充実させていく。	

(9) 財務・・・財務状況、監査、財務状況の情報公開

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	A
②	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A
③	財務についての会計監査が適正に行われているか	A
④	財務情報公開の体制整備はできているか	A

[課題]	
・③、④の項目とも、適切に処理されているが、職員への情報開示の徹底が不足している。	
[今後の改善方策]	
・本校の監査役が監査をし、理事会で適切に承認され、その情報はHP上に掲載している。監査の終了や、理事会での承認、HP上での掲載終了の通達を職員に通達、確認を職員に啓蒙しているが、個人的に確認する時間等がなかなかとれなかったり、財務諸表の読み取りが困難なことも想定される。事務局長を中心に、より丁寧に職員への説明機会を設ける。	

(10) 法令等の遵守・・・法令遵守の状況、適切な学校評価への取り組み

	評価項目	A：よくできている B：まあできている C：あまりできていない D：全くできていない
①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	A
②	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	A
③	自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	A
④	自己評価の結果を公表しているか	A

[課題]	
・各項目、前年度より改善されており、取り組みは評価されている。	
[今後の改善方策]	
・今後も問題なく評価されるよう取り組んでいく。特に個人情報については常に保護対策を検討していく。	
・自己評価の実施、問題点の改善については、本会議での健闘事項を中心に、職員の声に対し、何らかの形で解答を返すように運営側は心がける。	
・自己評価結果は、学内で好評の期日を設け、それに即し公表することをルーティーンとする。	

## 6. 課題

「5. 評価項目の達成および取り組み状況」から検討項目を以下に抜粋いたしました。

### (3) 教育目標

- ② 学生の実体にあわせ、定期的カリキュラムの見直しが行われているか。
  - ・学力の低下にあわせ、どのようなカリキュラムや学力向上の方策が必要か
  - ・どの程度の学力を必要とするか
  
- ③ キャリア教育の視点に立ったカリキュラムが組まれているか
  - ・人間力や、仕事に取り組む姿勢を指導する方法として、適切な方法があるか。  
(新人教育の手法など)

### (8) 社会貢献 / 地域貢献

- ① 学校の教育資源などを有効活用した社会貢献を行っているか
  - ・学校を活用した社会貢献の方法
  - ・ボランティアを活用した学生と社会のつながりを持つ方法